

平成27年度 第3回COCフォーラム コミュニティ再生(CR)副専攻 成果報告会

2016年**2月16日** (火)

13:00~15:00 〈開場12:30〉

大阪市立大学 杉本キャンパス
学術情報総合センター1階 文化交流室

定員 80名 (当日受付/先着順)

共催 大阪市立大学、大阪府立大学

プログラム

13:00 開会挨拶 井上 徹 (大阪市立大学 副学長)

第1部 CR副専攻科目の実施報告

13:05 ①CR副専攻の特徴について

平 知宏 (大阪市立大学大学教育研究センター 特任講師)

13:15 ②アゴラセミナー1a/1b

14:00 ③地域実践演習I, II, IV, V (4クラス)

②③では受講生が各授業の内容や成果、課題を報告します

14:30 第2部 パネルディスカッション

「平成27年度CR副専攻の成果と課題、展望」

加藤 司 (大阪市立大学大学院経営学研究科 教授)

中川 眞 (大阪市立大学大学院文学研究科 教授)

嘉名 光市 (大阪市立大学大学院工学研究科 准教授)

生田 英輔 (大阪市立大学大学院生活科学研究科 講師)

水内 俊雄 (大阪市立大学都市研究プラザ 教授)

同時開催 パネル展示 COC事業紹介



平成27年度 第3回COCフォーラム コミュニティ再生(CR)副専攻 成果報告会

大阪市立大学は、平成27年度より、コミュニティ再生（CR*）副専攻プログラムを新たに設置しました。所属学部の主専攻に加えて全学部生が受講できるCR副専攻は、都市や地域社会の多様化・複合化した課題に向き合い、その解決の方策や理論を、教員と学生がともに学び合いながら、編み出してゆくプログラムで、地域社会のデザインやコーディネートに積極的に関わってゆく人材の育成を目指しています。例えば、今年度のCR副専攻科目「地域実践演習」では、地域新聞の取材・編集・発行に学生が携わったクラスや、都市計画や地理学そして建築学など複数の視点からまちをフィールドワークしたクラスなど、4クラスが開講されました。また「アゴラセミナーIa/Ib」では、学生は、地域で実際に活動されている実践家の方と意見交換を重ねたり、地域住民から聞き取り調査をしたり、あるいは東北の被災地を訪ねて防災・復興の現場を目の当たりにしてきました。次年度には、これまで学んできたことに基づいて学生自らが地域に向けて発表・提案を行う「アゴラセミナーII」が開講する予定です。

本報告会の第1部では、CR副専攻の特徴を説明し、今年度CR副専攻科目を受講した学生が、地域の現場で行われた授業の内容と成果、課題を発表します。第2部では、パネルディスカッション「平成27年度CR副専攻の成果と課題、展望」と題して、各科目の担当教員が、CR副専攻プログラム全体の進捗を振り返るとともに、教育カリキュラムとして新たに表出した課題を整理し、次年度に向けた改善点を議論します。これまでと同様に今後も行政や地域の方々と連携して授業を進めていくために、地域を志向した大学教育の在り方を地域社会と共に考察します。

なお当日は、フォーラム会場付近に、COC事業での教育・研究・社会貢献の取り組みをパネル展示いたします。

*CR：Community Regeneration（コミュニティ再生）の略称

【写真】

- (上) アゴラセミナーIb（地域福利）の授業風景
- (中) アゴラセミナーIa/Ib（地理・空間）での「生きた建築」フィールドワーク
- (下) アゴラセミナーIb（環境・防災）にて宮城県石巻市・被災地を見学



会場アクセス

- JR阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅下車、東口より徒歩約5分
- 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分



連絡先

大阪市立大学プロジェクト・マネジメント・オフィス
(略称PMO)

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL 06-6605-2068
FAX 06-6605-3505
E-mail pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp
URL <http://www.coc-osaka.jp/>

Project
Management
Office

COC事業について

平成25年度に大阪市立大学・大阪府立大学が共同で採択された文部科学省の「地(知)の拠点整備事業「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践」では、大阪府・市域の課題解決やコミュニティの再生を担う実践的な人材の養成を目指して、大学と自治体が連携して、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献の取り組みを進めています。

文部科学省
地(知)の拠点